



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「ランナー人口」と「管理職に占める女性の割合」です。



ランナー人口

検索



管理職に占める女性の割合

検索





ランナー人口

過去1年間にジョギングやマラソンを行った人の割合を見てみると、鹿児島県が全国で4番目（10.6%）に高い水準を誇っています。1982年に始まった「いぶすき菜の花マラソン大会」は、来年1月で34回目を迎えます。第1回大会の参加者306人からスタートし、現在では約2万人までに増え、全国6番目の規模の大会にまで成長しました。菜の花が咲き乱れる南薩路を駆け抜けるコースは、地元市民から愛され続けています。

一方、全国のランナー人口も、健康維持やマラソンブームを背景に、1,000万人（2012年）を超えています。（※）

福岡でも、11月9日（日）に初のフルマラソンとなる「福岡マラソン2014」が開催される予定です。

ランナーの人口比率

順位	都道府県	人口比率	主な市民マラソン大会
1	東京都	12.7	東京マラソン(2月)
2	埼玉県	11.5	
3	沖縄県	10.7	
4	鹿児島県	10.6	いぶすき菜の花マラソン(1月)
4	群馬県	10.6	
6	茨城県	10.5	
6	神奈川県	10.5	
	...		
20	宮崎県	9.1	青島太平洋マラソン(12月)
27	福岡県	8.6	福岡マラソン(11月) 北九州マラソン(2月)
32	佐賀県	8.2	さが桜マラソン(4月)
32	長崎県	8.2	
41	熊本県	7.8	熊本城マラソン(2月)
45	大分県	7.2	とみくじマラソン(11月)
	全国	9.6	

(注) 人口比率…ランナー人口(10歳以上)/10歳以上人口 ランナー人口…過去1年間にジョギング・マラソンを行った人(部活やクラブ活動も含む)
(出所:総務省「社会生活基本調査」(2011年)よりふくおかフィナンシャルグループ作成
※公益財団法人笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査2012」



管理職に占める女性の割合

都道府県別に「管理職に占める女性の割合」を見てみると、九州では熊本県（3位/16.5%）、長崎県（6位/15.7%）、福岡県（9位/15.5%）が上位に位置しています。ただし、欧米並みの30%にはほど遠く、低水準となっています。

安倍政権は成長戦略で、管理職に占める女性の割合を2020年までに欧米並みの水準に引き上げる目標を掲げ、国際競争力の向上の観点から、女性管理職登用に数値目標を設定するなど、女性の社会進出を後押しする機運が高まりつつあります。

雇用慣行を見直し労働環境の整備を進めれば、女性管理職の持続的な増加につながることが期待できます。

管理職に占める女性の割合

順位	都道府県	総数(人)	うち女性	女性割合(%)
1	徳島県	8,506	1,502	17.7%
2	高知県	8,155	1,364	16.7%
3	熊本県	18,717	3,084	16.5%
4	東京都	182,080	29,946	16.4%
5	青森県	14,111	2,293	16.2%
6	長崎県	14,180	2,221	15.7%
7	京都府	28,478	4,447	15.6%
8	鳥取県	6,961	1,080	15.5%
9	福岡県	53,288	8,263	15.5%
10	山口県	15,664	2,386	15.2%
	全国	1,420,224	198,477	14.0%

(出所)内閣府 男女共同参画局「全国女性の参画マップ」(平成25年12月)を基にふくおかフィナンシャルグループ作成
※管理職は、会社役員、会社管理職員、管理的公務員等を指す

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 一部に弱さが見られるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている

福岡県の景気は、消費税増税の影響で一部に弱さが見られるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

生産は、四輪自動車が減産となった輸送機械や食料品・たばこが低下していますが、底堅く推移しています。個人消費は、主力の衣料品、飲食料品ともに前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動が見られます。

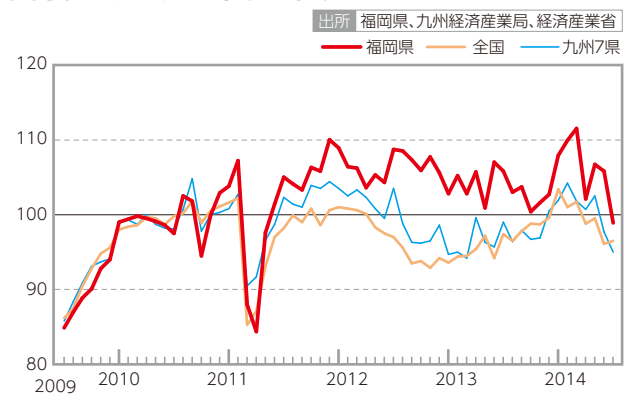
(森山 裕司)

1.生産活動 | 一部に弱さが見られるが、底堅く推移している

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は99.4と前月比6.5%低下しました。

主要業種では、消費税増税の影響で四輪自動車が減産となった輸送機械や、ビール等の生産が減少した食料品・たばこが低下する等、一部に弱さが見られますが、底堅く推移しています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

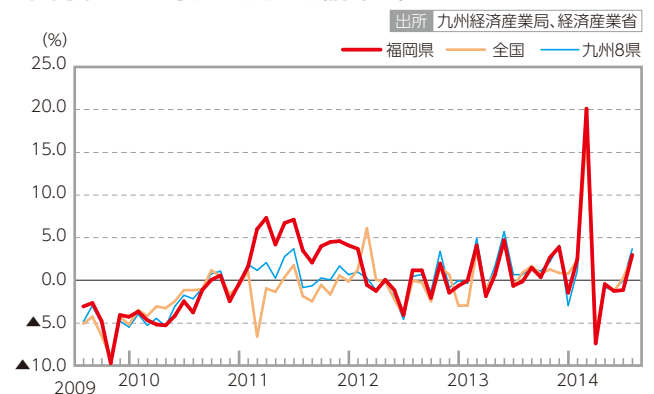


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

8月の大型小売店販売額は、前年同月比3.0%増の573億円となりました。

下旬の気温低下で秋物衣料の売れ行きが好調だった他、主力の飲食料品や宝飾・貴金属等の高額品も前年を上回りました。

■福岡県の大型小売店販売額(前年比)



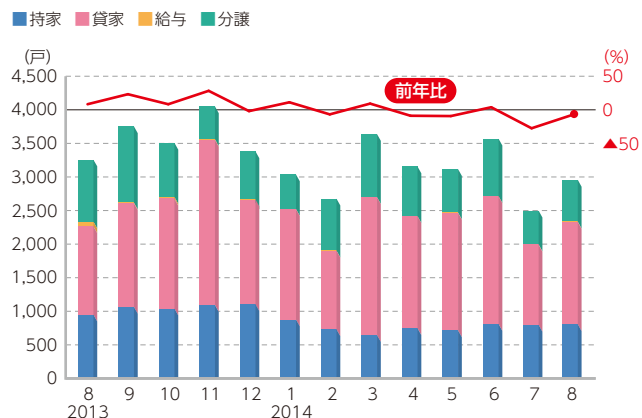
3.住宅建設 | 消費税増税に伴う駆け込み着工の反動減が見られる

8月の新設住宅着工戸数は、2,981戸と前年同月比9.2%減少しました。

「貸家」は増加しましたが、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動で、「持家」「分譲(マンション)」が大きく減少しました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



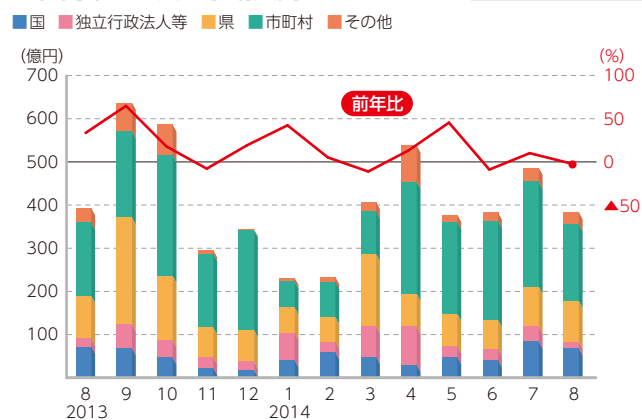
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比5.5%減の834件、金額が同2.4%減の386億円となりました。

発注者別では、「市町村」が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」「県」は大型案件に乏しく前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数は前年を下回る

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比30.6%減の25件、負債総額は同14.0%減の約29億円となりました。

産業廃棄物処理業で約10億円の倒産が発生したものの、負債総額、倒産件数ともに前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

熊本県の景気は、主要指標である生産や個人消費が堅調に推移する等、持ち直しの動きが続いています。

生産は、電子部品・デバイスや化学が上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、主力の飲食料品や衣料品が好調に推移する等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は消費税増税に伴う駆け込み着工の反動が見られます。

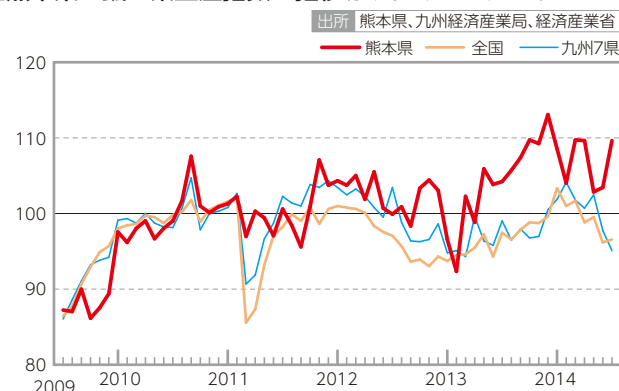
(森山 裕司)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は110.3と前月比6.1%上昇しました。

主要業種では、スマートフォンや自動車向けの半導体が好調な電子部品・デバイスや、医薬品の生産が増加した化学が上昇する等、持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

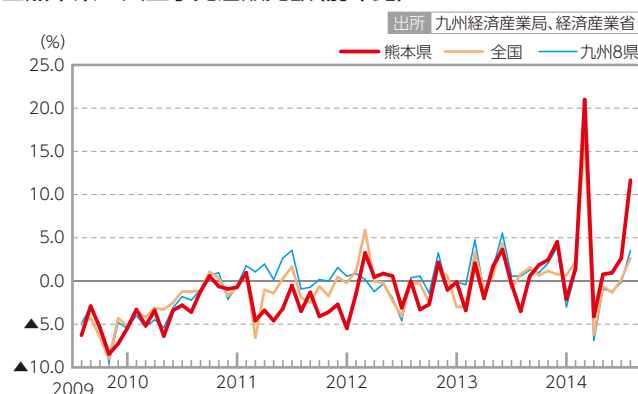


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

8月の大型小売店販売額は、前年同月比11.9%増の142億円となりました。

惣菜等が好調な飲食料品が大幅に増加した他、下旬の気温低下で秋物衣料の売れ行きが好調だった衣料品も前年を上回りました。

■熊本県の大型小売店販売額(前年比)



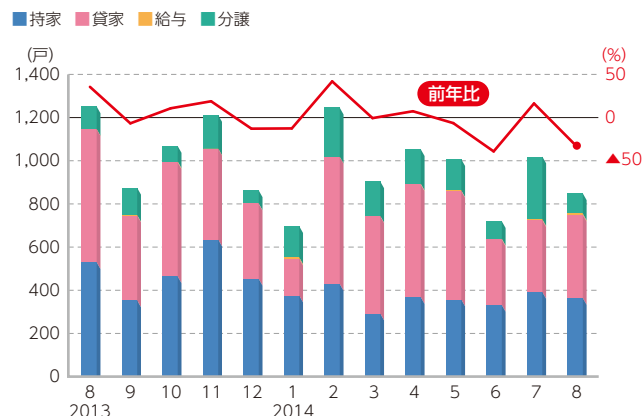
3.住宅建設 | 消費税増税に伴う駆け込み着工の反動が見られる

8月の新設住宅着工戸数は、855戸と前年同月比32.2%減少しました。

消費税増税に伴う駆け込み着工の反動で、「持家」「貸家」が前年を大きく下回りました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



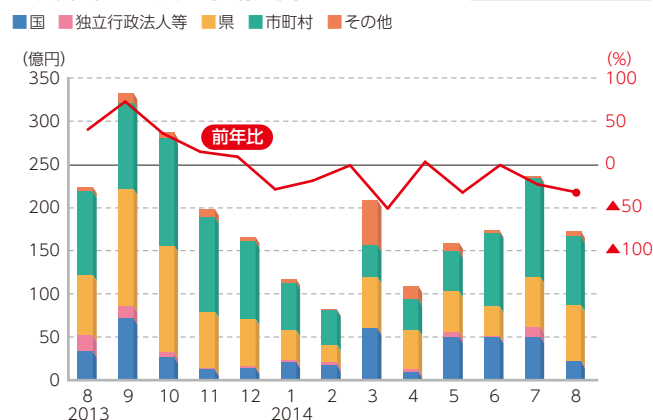
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比25.4%減の501件、金額が同23.1%減の173億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、発注者別では、「その他公共的団体」を除く全ての項目で前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



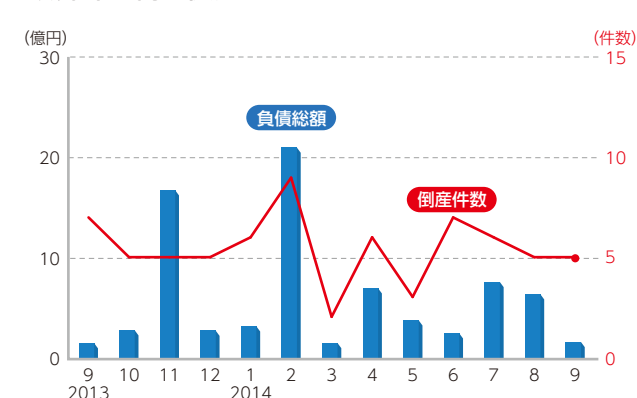
5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数は低水準に抑制

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比28.6%減の5件、負債総額が同10.0%増の約2億円となりました。

大型倒産はなく、負債総額、倒産件数は低水準に抑制されています。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

長崎県の景気は、主要指標である生産で一部に弱さが見られるものの、個人消費に持ち直しの動きが見られる等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、窯業・土石製品やはん用・生産用機械が低下する等、一部に弱さが見られます。個人消費は、5ヵ月ぶりに前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は3ヵ月連続で前年を下回りました。

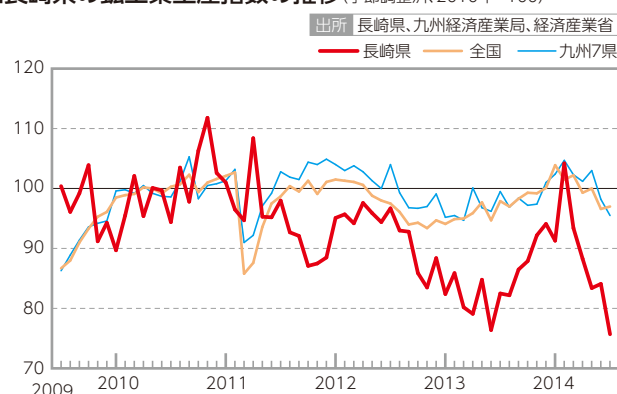
(下田 大氣)

1.生産活動 | 一部に弱さが見られる

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は75.7と前月比10.0%低下しました。

主要業種では、生コンクリートの生産が減少した窯業・土石製品が低下した他、ボイラーが減産となったはん用・生産用機械が低下する等、一部に弱さが見られます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

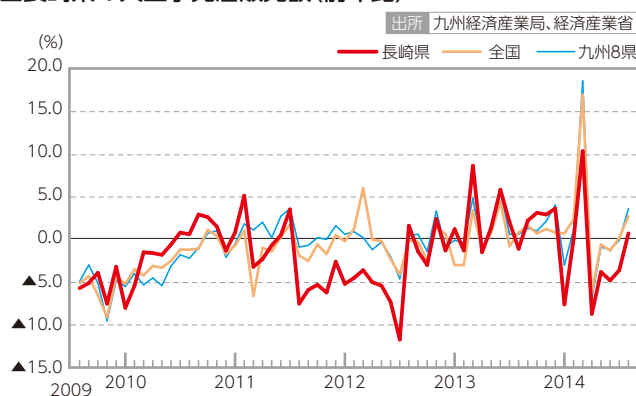


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

8月の大型小売店販売額は、前年同月比0.8%増の99億円となりました。

気温低下により、夏物衣料が不振だった衣料品は前年を下回りましたが、主力の飲食料品が前年を上回り、全体では5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■長崎県の大型小売店販売額(前年比)





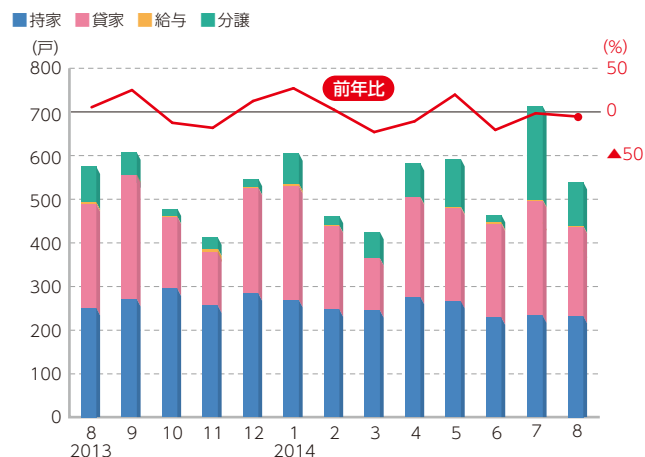
3.住宅建設 | 着工戸数は3ヵ月連続で前年を下回る

8月の新設住宅着工戸数は、544戸と前年同月比6.2%減少しました。

「分譲(戸建・マンション)」は前年を上回りましたが、「持家」や「貸家」が前年を下回るなど、全体では3ヵ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



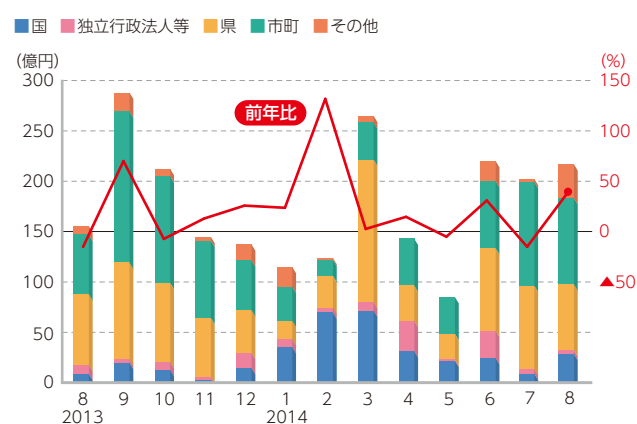
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比21.1%減の416件、金額が同39.6%増の218億円となりました。

発注者別では、トンネル工事の大型案件があった「独立行政法人等」や、病院の新築案件があった「その他公共的団体」が前年を大きく上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



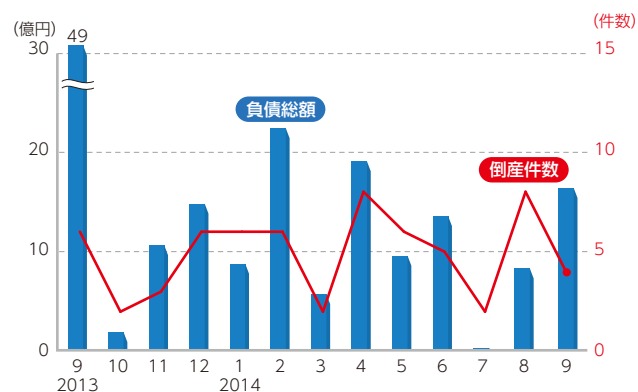
5.企業倒産 | 負債総額は前月を上回る

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の4件、負債総額が同66.7%減の約16億円となりました。

食品卸売業で負債総額10億円を超える倒産が1件発生し、負債総額は前月を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

佐賀県の景気は、主要指標である生産が底堅く推移している他、個人消費に持ち直しの動きが見られる等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、一般機械や食料品が上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、5ヵ月ぶりに前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

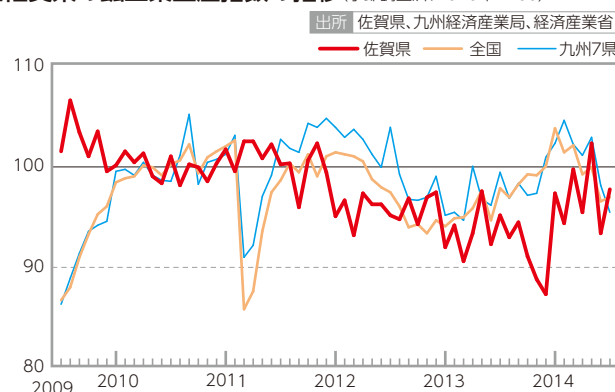
(下田 大氣)

1.生産活動 | 底堅く推移している

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.8と前月比4.7%上昇しました。

主要業種では、鉱山用機械の生産が増加した一般機械が上昇した他、乳飲料が増産となった食料品が上昇する等、底堅く推移しています。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

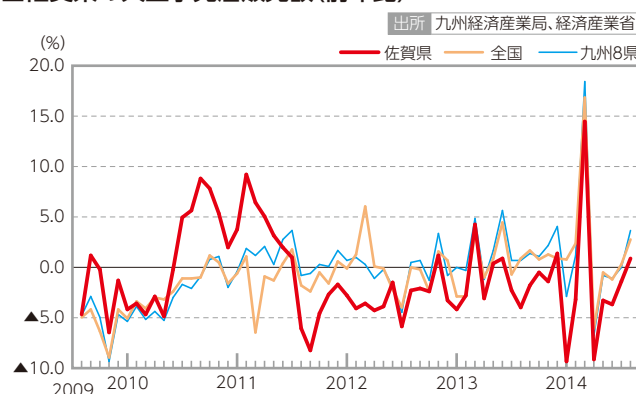


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

8月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9%増の57億円となりました。

主力の衣料品と飲食料品が共に前年を上回り、全体では5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の大型小売店販売額(前年比)





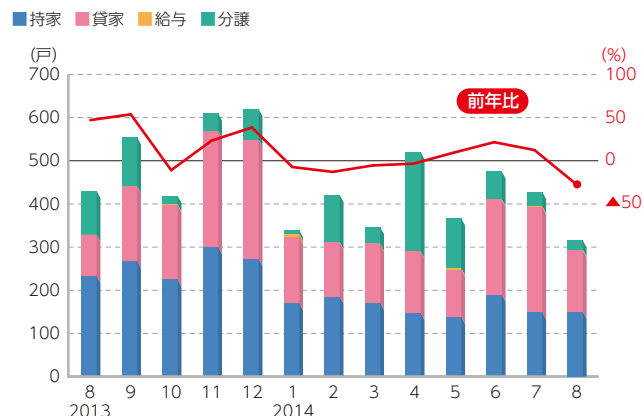
3.住宅建設 | 着工戸数は4ヵ月ぶりに前年を下回る

8月の新設住宅着工戸数は、319戸と前年同月比26.8%減少しました。

「貸家」は前年を上回ったものの、「持家」と「分譲（戸建・マンション）」が前年を下回る等、着工戸数は4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



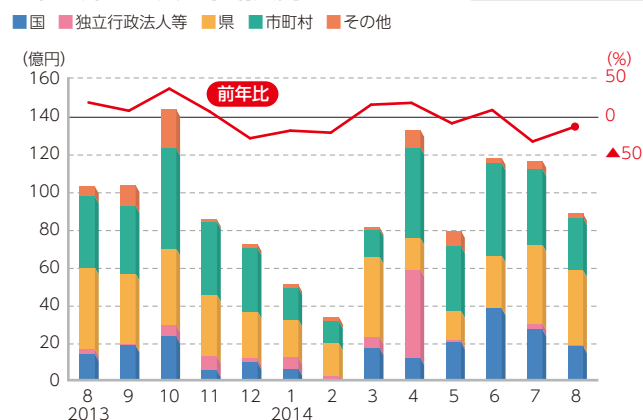
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比11.0%減の274件、金額が同14.0%減の90億円となりました。

発注者別では、筑後川関連工事で大型案件があった「国」は前年を上回ったものの、「県」や「市町村」は大型案件に乏しく、全体では2ヵ月連続で前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



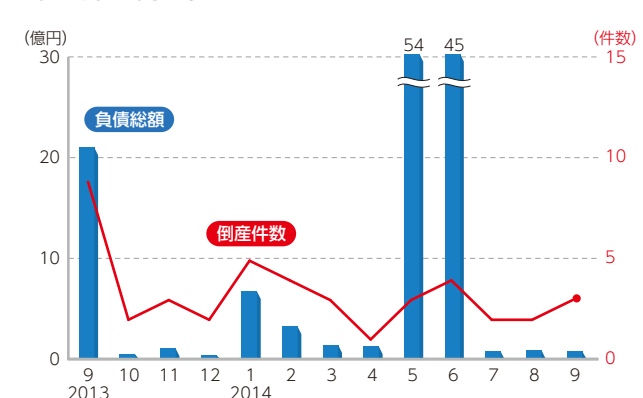
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準

9月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比66.7%減の3件、負債総額が同96.3%減の8千万円となりました。

負債総額1億円を超える倒産は無く、負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

大分県の景気は、主要指標である生産で一部に弱さが見られるものの、個人消費が底堅く推移する等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、窯業・土石製品や電気・情報通信機械が低下する等、一部に弱さが見られます。個人消費は、主力の飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、駆け込み需要の反動減が見られます。

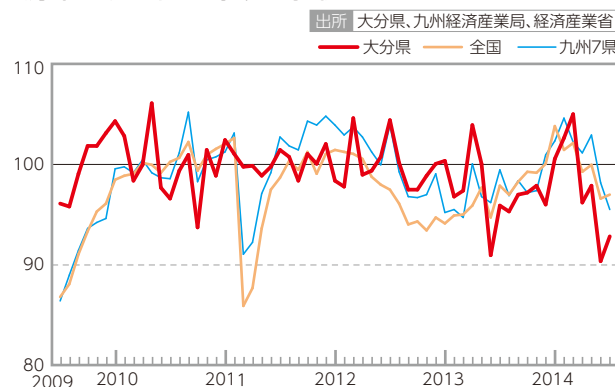
(松永 圭史)

1.生産活動 | 一部に弱さが見られる

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.8と前月比2.8%上昇しました。

主要業種では、医薬品が増産となった化学・石油製品が上昇した一方、セメントの生産が減少した窯業・土石製品や、一眼レフカメラが減産となった電気・情報通信機械が低下する等、一部に弱さが見られます。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

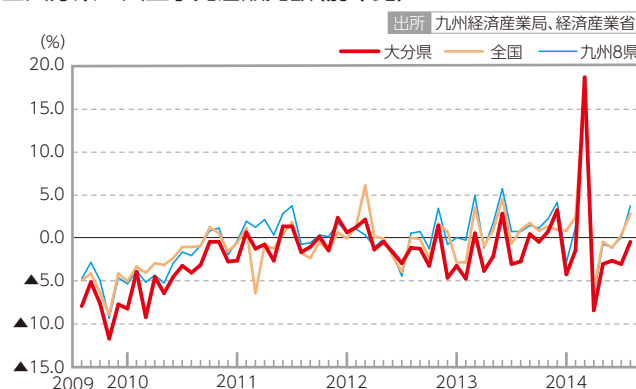


2.個人消費 | 底堅く推移している

8月の大型小売店販売額は、前年同月比0.5%減の98億円となりました。

天候不順の影響で衣料品が前年を下回ったものの、主力の飲食料品が前年を上回り、全体では前年並み水準を維持しました。個人消費は底堅く推移しています。

■大分県の大型小売店販売額(前年比)





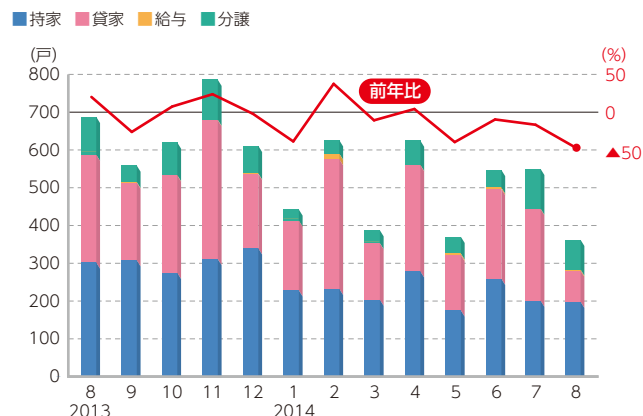
3.住宅建設 | 駆け込み需要の反動減が見られる

8月の新設住宅着工戸数は、前年同月比47.4%減の368戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲」が前年を下回る等、駆け込み需要の反動減が見られます。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



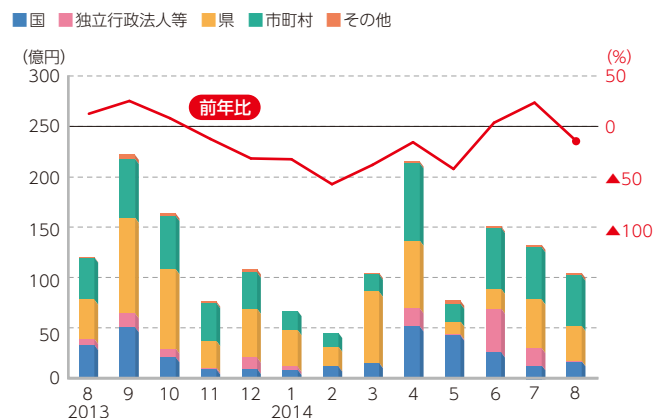
4.公共工事 | 3ヵ月振りに前年を下回る

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比14.7%減の320件、金額が同13.0%減の106億円となりました。

発注者別では、消防局関連の大型案件があった「市町村」が前年を上回ったものの、「国」「独立行政法人等」「県」が前年を下回り、全体でも3ヵ月振りに前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証

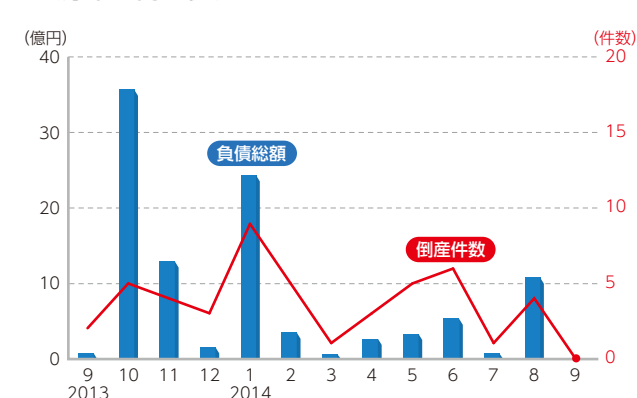


5.企業倒産 | 倒産件数は、47年7ヵ月振りの0件

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、1967年2月以来47年7ヵ月振りの0件となりました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、主要指標である生産が底堅く推移する他、個人消費に持ち直しの動きが見られる等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、月次の振れを伴いつつも底堅く推移しています。個人消費は、主力の飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は、駆け込み需要の反動減が見られます。

(松永 圭史)

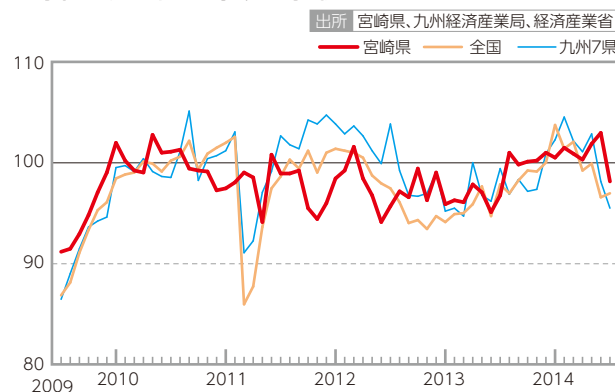
1.生産活動 | 月次の振れを伴いつつも、底堅く推移している

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.2と前月比4.8%低下しました。

生産は、月次の振れを伴いつつも、底堅く推移しています。

主要業種では、焼酎が減産となった食料品が低下しました。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

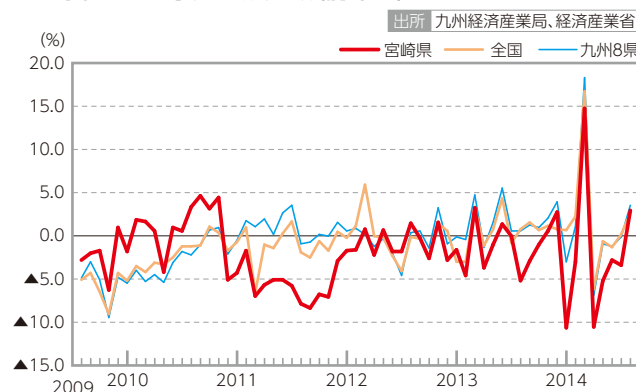


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

8月の大型小売店販売額は、前年同月比3.1%増の73億円となりました。

主力の飲食料品が前年を上回った他、高額品が好調に推移する等、個人消費は持ち直しの動きが見られます。

■宮崎県の大型小売店販売額(前年比)





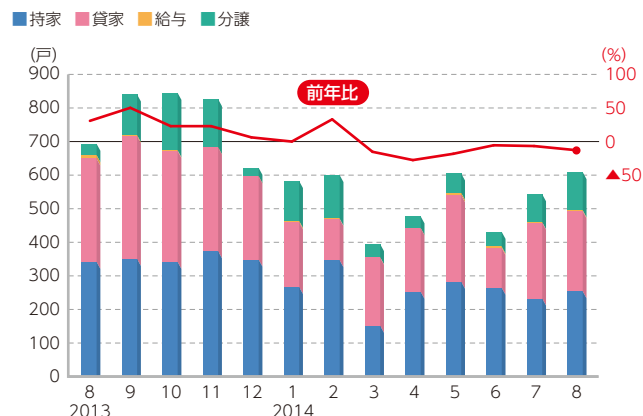
3.住宅建設 | 駆け込み需要の反動減が見られる

8月の新設住宅着工戸数は、619戸と前年同月比12.2%減少しました。

「分譲」は前年を上回りましたが、「持家」「貸家」が前年を下回る等、駆け込み需要の反動減が見られます。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



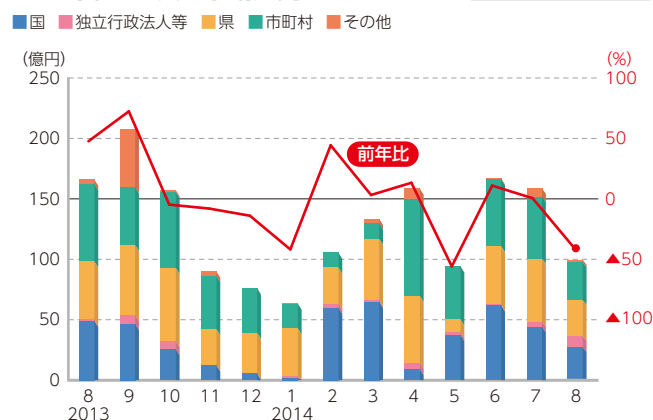
4.公共工事 | 3ヵ月振りに前年を下回る

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比26.0%減の348件、金額が同40.0%減の101億円となりました。

発注者別では、大学改修工事の大型案件があった「独立行政法人等」が前年を上回ったものの、「国」「県」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回り、全体でも3ヵ月振りに前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2倍の2件、負債総額が同約22倍の約14億円となりました。

衣類販売業で約13億円の大型倒産が発生する等、負債総額は前年を上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

鹿児島県の景気は、消費税増税の影響で一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きが見られます。

生産は、焼酎が増産となった食料品が上昇する等、月次の振れを伴いつつも緩やかな持ち直しの動きが続いています。個人消費は、化粧品や宝飾品等の売れ行きが好調に推移する等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動が見られます。

(森山 裕司)

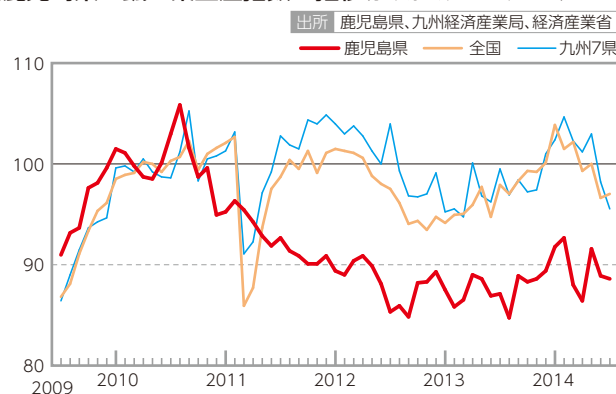
1.生産活動 | 月次の振れを伴いつつも、持ち直しの動きが続いている

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は88.5と前月比0.3%低下しました。

主要業種では、焼酎が増産となった食料品が上昇したものの、ICチップ関連部品の生産が減少した電気・情報通信機械が低下しました。

生産は月次の振れを伴いつつも、持ち直しの動きが続いています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

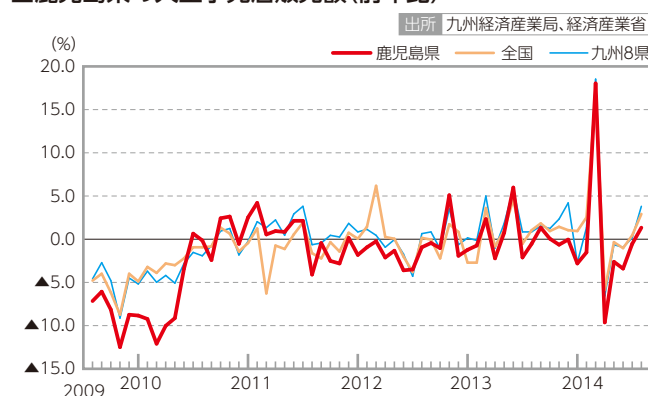


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

8月の大型小売店販売額は、前年同月比1.1%増の132億円となりました。

飲食料品その他、天候不順の影響で衣料品が前年を下回ったものの、化粧品や宝飾品等の売れ行きが好調で、全体では前年を上回りました。

■鹿児島県の大型小売店販売額(前年比)





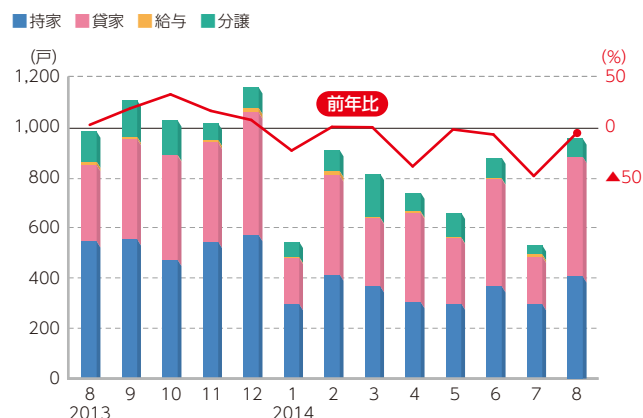
3.住宅建設 | 消費税増税に伴う駆け込み着工の反動減が見られる

8月の新設住宅着工戸数は、965戸と前年同月比2.8%減少しました。

「貸家」は増加したものの、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動で、「持家」「分譲(マンション)」が大きく減少しました。

■ 鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



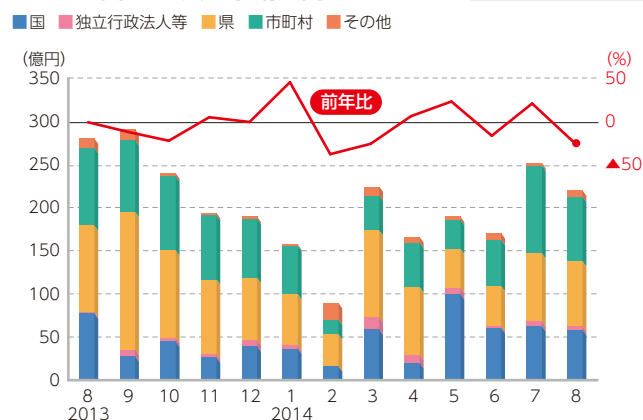
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比24.9%減の625件、金額が同22.0%減の222億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、発注者別では、「独立行政法人等」を除く全ての項目で前年を下回りました。

■ 鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は3ヵ月連続で減少

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比約2.7倍の8件、負債総額が同27.8%減の約8億円となりました。

養殖業で約3億円の倒産が発生しましたが、負債総額は3ヵ月連続で減少しています。

■ 鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

